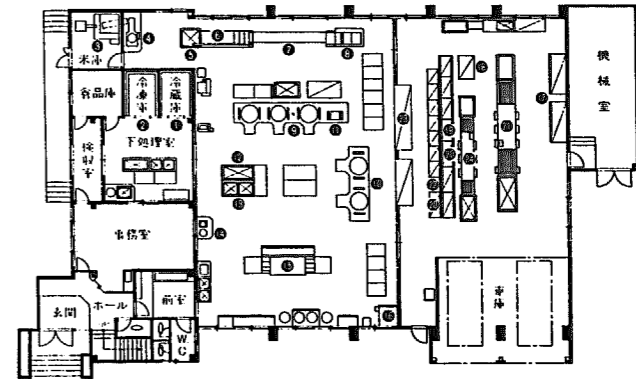
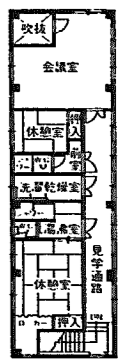


食を通して子どもたちの
心豊かな人間性を大きく育む

1階平面図



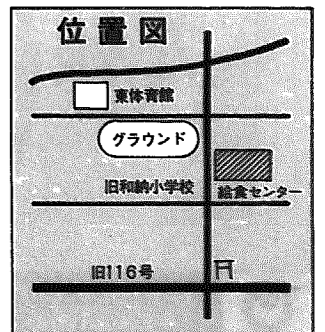
2階平面図



- | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|--------|----------|--------|
| ①冷蔵庫 | ②冷凍庫 | ③昇降機付米サイロ | ④洗米送米器 | ⑤浸漬計量計水器 | ⑥連続炊飯器 |
| ⑦むらしコンペアー | ⑧反転ほくし盛付機 | ⑨ガス回転釜 | ⑩蒸気回転釜 | ⑪フードミキサー | ⑫一槽シンク |
| ⑬二槽シンク | ⑭さいの目切機 | ⑮連続焼物機 | ⑯蒸し器 | ⑰食器消毒保管庫 | ⑱コンテナ |
| ⑲かさ上げ式洗浄機 | ⑳食缶消毒保管庫 | ㉑食缶洗浄機 | | | |

施設の概要

所在地/新潟県西蒲原郡岩室村大字和納4055-1番地
 敷地面積/1,610㎡
 建築面積/705㎡
 構造/鉄骨造り一部2階建
 (一階) 588㎡
 事務室・検収室・下処理室・食品庫・冷凍庫
 冷蔵庫・調理室・食器洗浄室・便所・前室
 玄関・車庫・機械室
 (二階) 117㎡
 会議室・休憩室・シャワー室・便所・湯沸室



九月からスタート 最新鋭の施設で 学校給食センター した給食センター まぶごころ給食

給食を通して人間性 豊かな子供たちを育む

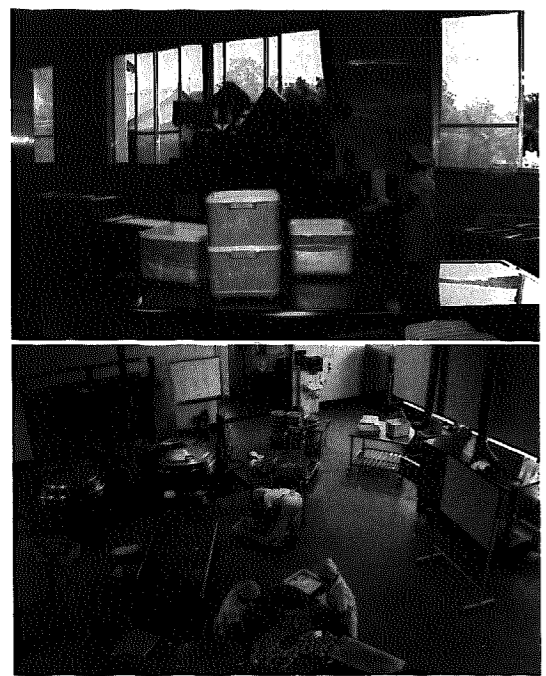
岩室村では、昭和三十五年に和納小学校ではじめて学校給食が開始されたから三十一年が経過しました。その間、各学校では地域の特色を生かしたメニューや工夫を凝らした給食で、児童や生徒たちから「第二のおふくろの味」として大変喜ばれてきました。しかし、

各学校給食施設も長期間にわたる給食業務のため、その施設も老朽化が進み、傷みなども目立ってきたのと併せて、今回の和納小学校改築をきっかけに、「より衛生的においしい給食を食べてもらえる施設」として学校給食センターの建設となりました。

鋭の施設で、衛生面はもちろんのこと、より一層おいしい給食が提供できるようにといういろいろな配慮、工夫がなされており、また今後の児童、生徒数の増にも十分対応できるように設計されています。



写真上/おいしい煮物やみそ汁を作る蒸気回転釜
 写真下/最新式洗浄機で、衛生対策もこれで万全



写真上/1日約120kgの米が炊ける自動連続式炊飯機
 写真下/作業効率を考え、スペースも広くとられた調理室

さて、学校給食センターの業務がスタートして一か月が過ぎましたが、子どもたちの反応はどうでしょうか? ある小三男子は「ごはんも温かいし、おかずもおいしいよ」、また中二女子は「いままでもりもおいしくなったみたい」などと、その評判はいいようです。でも、皆さんの中には自校給食に比べて「やっぱりね」。なんて思っている人も多んじゃないでしょうか!? でもそんな心配はいりません。今回建設された給食センターには、自校給食にまさるとも劣らない様々な配慮、設備がなされています。例えば、「ご飯は大きな釜で炊くのでおいしく炊ける」

「新型の調理機器でいろいろなメニューができる」「それに衛生面でも細心の注意が図られている」など、このほかにも沢山の利点を兼ね備えています。それともう一つ付け加えておきたいのが、温かい給食をそのまま子どもたちに食べってもらうため、保温力のすぐれた容器が使われていることです。また、それに併せて新しい食器に取り替えられました。(間小含む)

が、給食センターで働く栄養士さんや調理員さんたちがはりきっていることです。新しい施設で、今まで以上に喜ばれる給食を食べてもらおうと毎日一生懸命です。そして、自校給食時のふれあいを、これからも大切に残していきたいと、各学校への給食配達には必ず調理員が一人ずつ同行し世話をすなど、その意気込みが強く感じられました。